

社会1年「東南アジアの工業」

A. H教諭

【授業の流れ】

(1) 身のまわりにアジア製のものはあるだろうか？

オーセンティックな学び

身近な文房具（シャーペン、消しゴム、筆箱、スティックのり）などの中に、中国・タイ・ベトナム・台湾製のものがあることを確認。



(2) 本時の目標

「なぜ、東南アジアに日本企業が数多く進出しているのだろうか。」



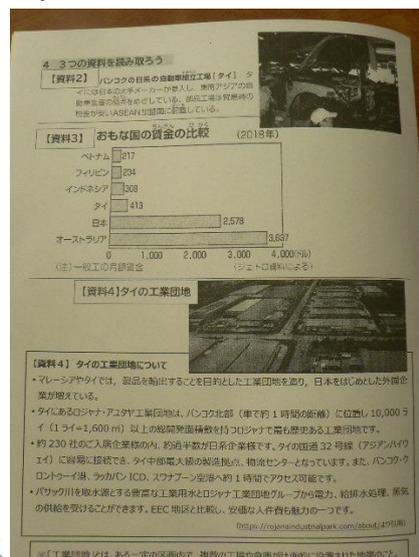
(3) 理想の生徒の姿

- ① 資料（特にグラフ）を適切に取り取り、必要な情報を収集することができる。
- ② 本時の目標について、文章でまとめることができる。

(4) モニターを活用した地図や資料



周到に準備された資料の数々



(5) ペアで意見交換



テンポよく授業が展開される。

終始、和やかな雰囲気が漂う教室

(6) 板書の工夫



本校の今年度の重点目標

【授業改善】「自己との対話から学びを深め、他者を意識した表現を工夫する生徒の育成」